

本パンフレットの内容は、2026年3月現在のものです。諸事情により、予告なく内容に変更が生じる場合があります。

Design the Future, Lead the Change

Beyond Leadership: The ELSP Evolution
The world is changing at an unprecedented pace. Tomorrow's leaders need more than just management skills—they need the vision to create new value and the courage to drive social impact. ELSP is not just a program; it is a launchpad for entrepreneurial thinkers ready to design a better society.

Why ELSP? Our Two Pillars of Excellence
ELSP distinguishes itself by centering its curriculum on two essential pillars of excellence: The first pillar, New Value Creation, empowers students to tackle complex social challenges by integrating cutting-edge fields such as AI and sustainability into their entrepreneurial toolkit to generate a lasting social impact. Complementing this, the Organizational Management pillar focuses on developing the ethical leadership and collaborative skills necessary to move people and organizations toward a shared vision. By continuously cycling through theory and practice, ELSP fosters a unique mindset that enables you to not just imagine a better society, but to actively design and build it.

A Global Hub for Real-World Impact
ELSP is your gateway to the global business stage. Our program bridges the gap between theory and practice through intensive workshops and international collaborations. Step out of your comfort zone and join a community dedicated to designing a better future for society.

Don't just predict the future. Design it
Join the ELSP community and become the proactive leader the world is waiting for.

お問い合わせ
関西大学 教務センター
 〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号
 TEL: 06-6368-1121 (代)
http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_com/

ELSP

Entrepreneurship Leadership Special Program

2026

アントレプレナーシップ・リーダーシップ特別プログラム

グローバルに活躍するプロアクティブ・アントレプレナーの育成

共創の少数コミュニティ ソーシャル・デザインカ グローバル・マインドセット

関西大学商学部

ELSPの特徴

ELSP … 2025年度まで実施していたBLSP「ビジネスリーダー特別プログラム」をさらに発展させ、よりアントレプレナーシップ育成に力を入れた特別プログラム

<h4>少数コミュニティ</h4> <ul style="list-style-type: none"> ● 精鋭チームでアントレプレナーシップを養う ● 教員や志を同じくする仲間とLinchpinを目指す ● オープンバッジで自身の強みを世界に証明できる 	<h4>新価値創造の実践</h4> <ul style="list-style-type: none"> ● 第一線で活躍するアントレプレナーから生きたビジネスの最前線学ぶ ● プロジェクト型学習を通じて社会をデザインする力を養う ● AIなどこれからの時代に不可欠な力を身につける
<h4>グローバル協働力</h4> <ul style="list-style-type: none"> ● 多文化共修によって、異文化への深い理解をもとに、多様な他者と一つの目標に向けて協働する力を磨く ● 海外ワークショップを通じ、境界を越えて活躍するリーダーシップを体得する 	

担当教員	2026年度にELSP授業科目を担当予定の専任教員	
	氏名	紹介
プロジェクト	中邑 光男	神戸市外国語大学大学院修了。専門は、ビジネス英語、辞書学
	岡本 真由美	京都大学大学院修了。専門は国際ビジネスコミュニケーション
	西岡 健一	11年間のNTT勤務後、エジンバラ大学マネジメントスクール博士号を取得。ビジネスのサービス化について研究
	沈 政都	一橋大学大学院修了。専門はファミリービジネスとアントレプレナーシップ
	横山 恵子	北海道大学大学院経済学研究科修了。専門はソーシャルアントレプレナーシップ
ビジネス英語	中邑 光男	ELSP英語科目担当
	岡本 真由美	ELSP英語科目担当
選択科目	西岡 健一	ビジネスモデル論担当
	沈 政都	アントレプレナーシップとBusiness Studyを担当
	横山 恵子	ベンチャー論担当
	松井 克文	価値創造論とフューチャーデザイン演習を担当

授業科目

計12科目24単位以上を修得した場合にELSPを修了したものとす

科目一覧	単位数	配当年次
必修科目群		
プロジェクト研究1	2	3年 [春]
プロジェクト研究2	2	3年 [秋]
プロジェクト研究3	2	4年 [春]
プロジェクト研究4	2	4年 [秋]
英語コミュニケーション1	2	3年 [春]
英語コミュニケーション2	2	3年 [秋]
フューチャーデザイン演習	2	4年 [秋]
選択科目群		
価値創造論	2	2年 [春]
ベンチャー論	2	2年 [春]
ビジネスモデル論	2	2年 [秋]
アントレプレナーシップ	2	3年 [秋]
Business Study	2	2年 [春]
グローバル協働インターンシップ	2	2年 [秋]
海外ワークショップ	2	3年 [夏季集中]

BLSP 座談会

グローバルリーダーへの道

—BLSPで培う実践力と英語力—

「BLSP」に参加したきっかけ

岡本先生：「BLSP」に参加したきっかけを教えてください。

山脇さん：もともと高校生の頃から海外や英語に興味がありました。学部選びの段階から、マネジメントのゼミではなく、ビジネスモデル論を学べる「西岡ゼミ」に行きたいという思いがありました。ビジネスモデル論とプロジェクトというハイブリッドな学びが大事だと感じて選びました。

小林さん：コロナ禍で何もできていなかったの、「ゼミくらいは入ろう」と思ったのが正直なところです。小5と中2でアメリカやイタリアに行った際、「海外ってデカい！」と肌で感じた経験も後押ししました。

松本さん：岡本先生のビジネスコミュニケーションの授業を聞いて「入ろう」と決めました。また、先生からお話を聞く中で、これまで海外に行ったことがなかったので、大学生のうちに経験しておきたいと思いました。

勝部さん：「BLSP」の自分の足で経験できる点に惹かれました。正直、中邑先生の授業とどちらにするかかなり迷いました。

「学びの中での変化

岡本先生：「BLSP」の活動を通し、授業ではどんなことが学べましたか？

山脇さん：西岡ゼミの中で論理的に考える力がついたと思います。英語プレゼンテーションの授業では、テストに解答することに必死でした。本当に話せる英語力が身につけているか不安でしたが、シンガポールに行き話してみたら、英語が「通じる」実感を持ってました。

小林さん：実践力がついたと思います。山田先生の英語プレゼンの授業がそのまま実践につながりました。学習したことが活きていると感じました。

松本さん：私は英語が苦手な不安でしたが、授業は楽しかったです。今までは受け身の授業ばかりでした。「BLSP」では、少人数での発表やビジネスモデルの授業を通して、初めて自分から積極的に参加できるようになりました。

勝部さん：「学び方」そのものを教えてもらい、英語コミュニケーションではライティングもスピーキングも数をこ

英語に強いビジネスリーダーを目指すBLSP

※2026年以降 ELSP「アントレプレナーシップ・リーダーシップ特別プログラム(Entrepreneurship Leadership Special Program)」になります。

「ビジネスリーダー特別プログラム(Business Leader Special Program)」は、グローバルビジネスの最前線で活躍するプロアクティブ・リーダーを育成する、関西大学商学部独自のプログラムです。実践的な「プロジェクト研究」で現実のビジネス課題に向き合い、その解決策を「コミュニケーション英語」で世界に発信できる力を養います。プログラムの魅力と成果について、岡本真由美先生の司会のもと、履修生の小林龍矢さん、山脇彩香さん、勝部桃菜さん、松本菜穂さんに語っていただきました。



岡本 真由美 (おかもとまゆみ) 先生
商学部商学科 BLSPプロジェクト担当



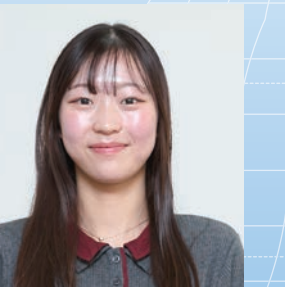
小林 龍矢 (こばやしりつや) さん



山脇 彩香 (やまわきあやか) さん



松本 菜穂 (まつもとなほ) さん



勝部 桃菜 (かつべももな) さん

なしました。自分の見せ方や話し方、また、西岡先生のビジネスモデル論では、企業研究の仕方でも学べ、今後に向けて大切なことを吸収できたと思います。

「BLSP」ならではの魅力

岡本先生：では、他とは違うBLSPの魅力はなんだと思いますか？
小林さん：同じ志を持っている顔馴染みが増えることです。ゼミだけだとどうしても閉鎖的になりがちですが、「BLSP」に参加すれば、横のつながりが増えいきます。多様に混ざれることが魅力だと思います。

山脇さん：「BLSP」ではみんな海外に行きたいという思いがあり、ハードな道を選んだ志が高い仲間が集まっています。授業でも自分よりレベルの高い人と一緒に活動できるのが魅力です。

海外ワークショップでの苦労

岡本先生：海外ワークショップで苦労したことはありましたか？

勝部さん：英語力が足りませんでした。日常的な会話ではできても、企業の方とのやり取りは難しかったです。でも、日数を重ねていくごとに「やるしかない」となるの

で、ガッツは学べたと思います。

松本さん：私も英語が苦手な人、人見知りなので心配でした。ゼミも違う初対面のメンバー、さらに企業の方とも初対面で「どうやって話そう」と不安でした。でも、「話してみるしかない！」と気合いと熱意とハート、そして笑顔が固くならないように挑み、言語だけではなくコミュニケーションを学べました。

小林さん：僕はあまり苦労した覚えはありません。英語はパッションだと思います。カタコトでも頑張れば聞いてくれますし、自分を表現して前に出ていくことさえできれば繋がります。現地に適応するのが得意なのかもしれません(笑)。

山脇さん：英語が大変でした。それ以外では、ゼミで吸収してきたつもりでも、シンガポールの人とこちらの文化の前提の違いを説明するのに苦労しました。100%伝えられなくてもどかさかかったです。

参加して得たもの

岡本先生：では、参加して良かったこと、得たことはなんですか？

山脇さん：高校から英語を専攻して頑張ってきましたが、シン



ガポールでわからないなりにコミュニケーションが取れたことで、高校時代に抱いていた「海外で仕事がしたい」という思いが強くなりました。就活中でまだ内定はありませんが、「どこでもいい」ではなく、自分のしたいことがわかり、就活の軸も明確になりました。

小林さん：価値観を大きく変えられました。日本が大好きで「日本をより良くしたい」という気持ちがありつつ、海外を経験すると、マライオンの大きさやシンガポールで貧富の差を目の当たりにし、日本は改めてすごいとも思いました。

松本さん：違うゼミの子と一緒にいて、教育方針や視点の違いに気づきました。「こういう風な視点でみたらどう？」と優しく言われ、日本とシンガポールでの見方の違いやギャップを知りました。自分がどれだけ小さい範囲で物を見ていたかを痛感し、世界との境目が見えた気がします。

勝部さん：初めての海外だったので、その文化の違いに驚きました。チューイングガムがダメだったり、電車で電話してもよかったです。自分の器の狭さがわかり、いろんなことを許せるようになりました。幼い子供に金融リテラシーを教えていることなど、国が抱えている問題の違いを知り、海外そのものに興味を持ってました。

自分の変化と今後の選択肢

岡本先生：参加する前と後の自分を比べてどう変わりましたか？

小林さん：以前は就職して、卒業旅行くらいで行ければいいやと思っていましたが、海外の大学に進む、海外で働

く、と思うようになり、将来の選択肢が増えました。実際に海外の大学や働く時の事業内容を調べています。

山脇さん：自分の力のなさや、自分よりもレベルの高いことをやっている人がいることを知りました。私も将来的に海外への進学や就職を視野に入れたいです。実際に就活の面接の中でも伝えていて、受け入れてくれる企業を探しています。

松本さん：英語に対して苦手意識がありましたが、行ってみたらそこまでカッコリ文法を気にしなくても良かったと思えました。「喋りたい」という意欲が湧き、248日連続でアプリの英語学習を続けています。

後輩へのアドバイス

岡本先生：後輩へ向けてアドバイスはありますか？

山脇さん：英語力よりも「なるようにしかならない」というマインドです。自分の考えよりも、「こういうデータがあるから」と、根拠を持って伝えるほうが伝わります。日本語でもいいから、論理的に話せるように準備していくほうが良いです。

勝部さん：事前課題をちゃんとしたほうが良いです。シンガポールのマーケットを知っていたら起らなかったトラブルもありました。もらった課題はちゃんとやりましょう。

松本さん：どんな質問することです。現地の企業の方と初めて話した時、自分たちが何を求められているのか、何ができるのかわかりませんでした。なんでもいいから



聞いてみる、「質問する力」をつけたほうが良いです。
小林さん：絶対に行ったほうが良いです。日本にいたら学べないことを学べし、リフレッシュもできます。就活を理由に行かないのはもったいないと思います。たった10日間、その期間だけ面接を入れなければいいだけです。プラスしかなくて、マイナスはお金くらい。それを乗り越えられるなら、絶対に行ったほうが良いです。

スタートアップ企業からの学び

岡本先生：訪問した企業はスタートアップだったと思いますか？

勝部さん：参加した時点でベンチャーに就職することが決まっていたのですが、実際に現地で経験してスタートアップの解像度が上がりました。相談に乗ってくれたことや、実際に動いているものを目の当たりにしたことがプラスになりました。

山脇さん：もともとスタートアップ企業に就職したい気持ちがありました。スタートアップは日本でも変化が激しいですが、シンガポールではさらにスピードが早かったです。高いレベルを求められ、それに自分が応えていくのが心地良いです。

小林さん：企業は大きいほうが良いと思っていました。でも、スタートアップでは、日本から来た一学生を相手に幹部の方が対応してくれました。最後の大学での発表にも聞きにきてくれました。社長が学生の話の聞きにくる、その環境や距離感がスタートアップの良さだと思いました。

松本さん：スタートアップへの就職は考えておらず、大企業なら理念くらいしか見ていませんでした。でも、スタートアップの方と話す、想いや誰に伝えたいのかをはっきりしていました。今まで受動的に就職するつもりでしたが、こんなに伝えようとしている人がいるんだと、その熱量に触られたのは良かったです。

目指すリーダー像

岡本先生：最後に、今後あなたが目指すリーダー像を教えてください。

山脇さん：世界を舞台にして戦えるような、海外と日本をつなげるリーダーになりたいです。

小林さん：リーダーとはいえ、グループのメンバーです。同じ目線、視座を持って、現場のメンバーと一緒に立つて肩を組んでやっていきたいです。

松本さん：先陣を切っていき、困っていたら相談してもらえる、縁の下の力持ち的なリーダーになりたいです。

勝部さん：私も小林さんと同じで、ぐいぐい引っ張っていくタイプではないので、全員を下から支えるようなリーダーになりたいです。ベンチャー企業さんを見ていて確信しました。

岡本先生：みんながそれぞれのリーダー像を持てたのは、「BLSP」のおかげですね。フィールドが広がって、知らなかったことを知り、日本にいただけでは考えもしなかったギャップに気づけた。それだけのゼミで飛び出していける人材に成長されたと思います。本日はありがとうございました。